

しっかり **あ**いさつ **そ**うじ **へ**んきょう

児童の人格形成をめざし、社会のよりよい形成者となるよう学校教育を推進する。また、確かな学力、温かい思いやりのある心、そして健やかで元気な身体を育成することをめざして調和の取れた教育活動を誠実に、丁寧に、計画的に実行する。

1年間を単位として9年間の義務教育を視野に入れた経営に全力で取り組む。毎年学級編制を行うことにより、児童同士及び児童と教職員との幅広く豊かな人間関係作りを実現する。学年全体を学年職員全員で指導するだけでなく、学校全体として総ての職員が全校児童の指導にあたるという意識を持って教育活動を行う。

1 学校教育目標

心豊かに 進んで学ぶ 元気な子

— 楽しい学校 安全な毎日 —

2 目指す児童の姿

- (1) 進んで学習し、粘り強く取り組む子《知》
 - ① 先生や友だちの話をしっかり聞くことができる
 - ② ノートやプリントに丁寧に書くことができる
 - ③ 自分の考えを適確に表現できる

- (2) 思いやりがあり、助け合う子《徳》
 - ① 自分から進んで気持ちの良い挨拶することができる
 - ② 呼ばれたら、良い返事ができる
 - ③ 「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える
 - ④ 自分の「良さ」を知り、自己肯定感をもって努力できる
 - ⑤ 友だちの「良さ」を理解し、大切にすることができる
 - ⑥ 相手の立場や気持ちを理解し、適切で丁寧な言動や行動が取れる。

- (3) 身体を大事にする子《体》
 - ① 目標を持った規則正しい生活ができる
 - ② 困難に負けないで、何事にも粘り強く取り組むことができる
 - ③ 身体を鍛え、健康で安全な生活を送ることができる

3 目指す教職員の姿

- (1) 明るく誠実で、児童に寄り添い丁寧な指導ができる教職員
児童の状況をよく理解し、粘り強く寄り添う誠実な姿勢

- (2) 学校教育目標の具現化に向けて真摯に努力する教職員
学校経営の方針をしっかり理解し、児童の豊かな成長を促す姿勢

- (3) 広い視野を持って自己研鑽に努め、協働する教職員
児童の生きる力の育成をめざして、進んで学び合う姿勢
- (4) 職務に対する自覚と誇りを持ち、相互に尊重し合う教職員
児童・保護者・地域から信頼される姿勢

4 学校経営の重点

(1) 確かな学力

- ① 学習指導要領「生きる力 学びの、その先へ」の趣旨を理解し、学力を身につけさせる。
- ・ユニバーサルデザインの視点から、わかりやすく、学びやすい授業の工夫
 - ・読書活動の充実。司書教諭や学校図書館専門員と連携して読書活動を推進
 - ・基礎基本の定着を図る。
 - ・ICT 機器を効果的に活用
 - ・授業と家庭学習を連動、自主学習の習慣化を図る
 - ・考え、議論する道徳を実施する。(参観日に1回以上展開)
 - ・特別な事情のある場合を除き、授業の開始・終了時間を守る。
 - ・地域(旭町中学校、松戸馬橋高等学校、地区社協)との連携
- ② 学年全体を全職員で指導する。(学級の枠を超えて)
- ・学級担任ではなく、学年担任という意識を強く持つ
 - ・2～6年生で教科担任制の実施(社会 理科 英語+体育館体育 他)
- ③ 学習規律をしっかり身につけさせる。
- ④ 教職員の研修の充実
- ・個人研修(市内公開研なども活用する)
 - ・共同研修
 - ・若手研修
 - ・実技研修(体育 理科実験 家庭科 音楽 図画工作等)
 - ・現職研修(エピペン 救命救急法 感染症対策 食物アレルギー 防災無線使用 避難所開設等)

(2) 豊かな心

児童にとって、教師の姿が一番の教育環境であるとの視点に基づき、言葉遣いや振る舞いについて自ら見直すとともに、適切な言動について指導する。

- ① 徹底した児童理解に努め、児童に寄り添った丁寧な指導。
- ・児童の登校を教室で迎えるようにし、児童の様子をよく観察する。
 - ・児童を呼び捨てにしない。また、児童同士も「さん」で統一
 - ・いじめ事案は早期発見、早期対応、解決、経過観察、再発防止の徹底、WEBQU の活用・分析
 - ・外遊びを通して児童と教職員の良好な人間関係づくりに努める。
 - ・清掃時間は、全員で行う。(職員は、清掃指導、清掃活動をする。)
- ② 特別な支援が必要な児童に対して、合理的な配慮を行う。
- ・ユニバーサルデザインの授業、教室環境、人的環境づくりを徹底する。

- ・発達障害特性についての理解
- ・不登校児童、不登校傾向の児童への配慮（「年間で長期欠席30日以下」児童と保護者とのこまめな連絡・家庭訪問等の実施）
- ・旭学級（通級情緒）の特性を有効に活用し、連携しながら指導に当たる。
- ・児童生徒課、子ども家庭相談センター、柏児童相談所、訪問相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、医療機関など、関係機関との連携を図る。

(3) 健やかな身体

「安全が全てに優先する」という原則に立ち、児童が健やかで元気に学習活動に取り組むことができるように、指導体制と施設設備の環境を整える。

- ①安全な毎日が過ごせるように最大限の配慮をする。
 - ・児童の体力向上に努める。（体育の授業、部活動、外遊びなど）
 - ・毎月の全校の安全点検を職員が分担し、実施する。
 - ・防犯・防災意識の向上と登下校の安全指導、安全教育の充実。
- ②健康に留意して元気な毎日を過ごせるようにする。
 - ・朝の健康観察を丁寧に行う。
 - ・新型コロナ、インフルエンザ等の感染防止に努める。
 - ・教職員は、児童の健康、学級経営の一環として、児童との外遊びを習慣とする。
 - ・怪我の防止に努める。（首から上の怪我は原則として医療機関を受診する。緊急を要する場合は直ちに救急車を要請する。
 - ・栄養教諭と連携しながら、食に関する指導を充実させる。
 - ・養護教諭、栄養教諭と連携した、食物アレルギー教育、対策（保護者と連携）の徹底

(4) 連携・情報発信

学校評価などを通して学校運営上の課題を明確にし、課題解決につなげていく。また、家庭や地域への情報発信によって共感と理解が得られるように努め、よりよい学校運営が行えるようにする。

- ①保護者との連携を図る。
 - ・授業や行事への参観機会を持ち、学校教育への理解を図るとともに協力を得る。
 - ・学習支援を依頼する。（町探検など引率の安全見守り、実習補助）
 - ・保護者の会の活動と協働して教育環境を整える。運営委員会 学級代表 卒業対策委員会 ボランティア
- ②地域との連携を図る。
 - ・近隣の保育園、幼稚園、旭町中学校、松戸馬橋高等学校、各町会、地区社協との連携により、特色ある教育活動（例）昔遊び、花植え、書写、絵画、放課後算数教室、部活動、英語、生徒会 等
- ③ホームページ、授業・行事参観等を通じた積極的且つタイムリーな情報発信に努める。
- ④スクリレ、期日厳守で、文書の配信